

福島第一原子力発電所DエリアD5タンク止め弁の閉止フランジからの滴下について

【 参 考 資 料 】
平成26年9月9日
東京電力株式会社

1 . 概要

発生日時：平成26年9月9日 10時30分頃

発生場所：DエリアD5タンク止め弁（D-D5-V3）閉止フランジ

発生状況：本日、発電所構内Dエリア内に設置されているD5タンクにおいて、RO濃縮水の受け入れ作業を実施していたところ、D5タンクの連結配管の先にある閉止フランジより、水が滴下（1秒に3滴程度）していることを受け入れ作業に立ち会っていた当社社員が発見した。

そのため、漏えい箇所については、ビニール養生を実施するとともに、D5タンクの連結配管に設置されている止め弁（D-D5-V3）を増し締めすることで、漏えいが停止した。

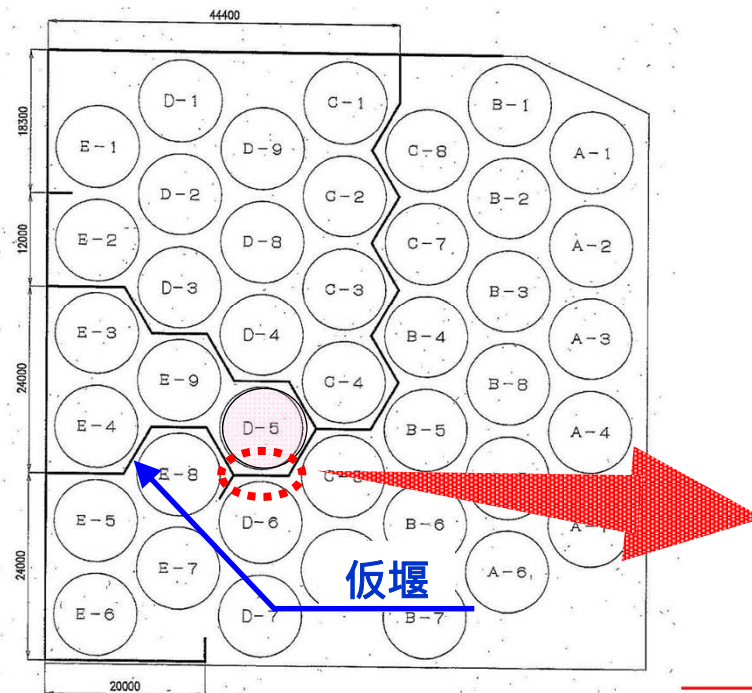
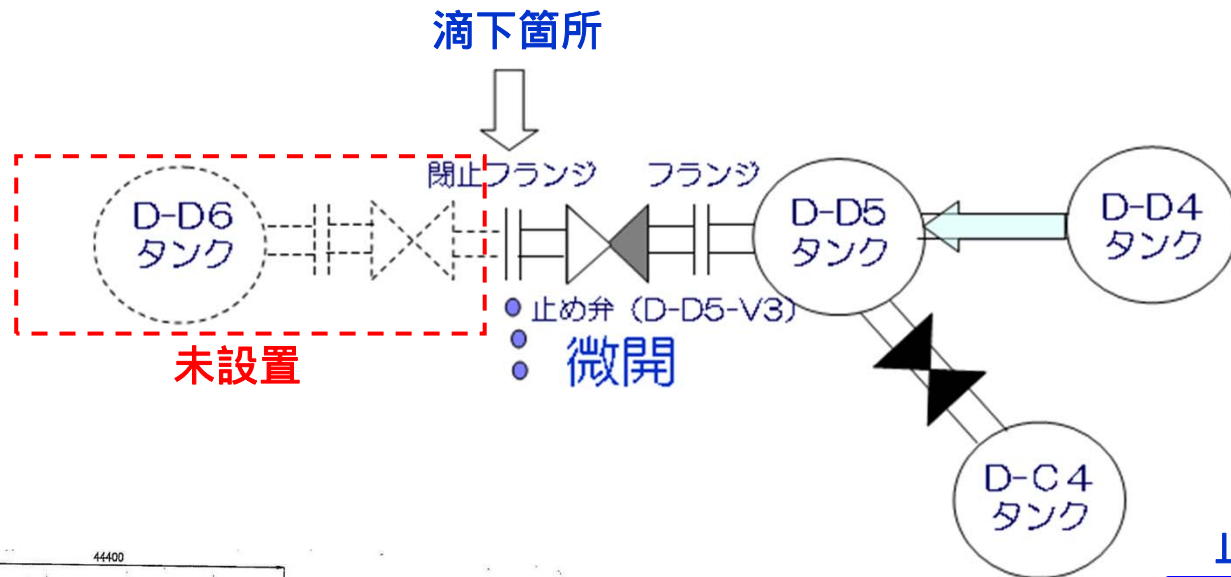
滴下した水はRO濃縮水で、滴下した水については仮堰内に留まっている。

滴下が確認された閉止フランジは、今後、タンク増設した際の増設したタンクとの連結用配管であり、現在はD-D6タンクが未設置のため、異物混入防止用に仮閉止していた。

時系列：9月9日

- 10：15 D5タンク移送開始
- 10：30頃 D5タンク止め弁の閉止フランジから漏えい発見
- 10：31頃 D5タンク止め弁増し締め実施、漏えい停止を確認
- 10：32 D5タンク隔離実施（D5-D4間弁”閉”）
- 10：36 閉止フランジ開放実施し残水ブロー
- 11：05 閉止フランジ残水処理終了
- 11：35 閉止フランジへパッキン取り付け終了

2. 現場状況



仮堰